

活動報告書

- 活動名：畑の学校【収穫】
- 活動のめあて（目的、目標）：学校近隣の畑を利用した野菜作り活動を通じて、子供たちが野菜の生育過程について理解を深めることができ、豊かな感性を育むことを目的とする。そして、地元農家の方への感謝の気持ちを持ち続けること。
- 日 時：平成 30 年 12 月 11 日（火） 10：40～11：30
- 天 気：晴れ
- 場 所：松本氏所有の畑
- 当日参加者・協力者

参加者内訳	技術指導	人数
県職員	○	5 名
小学部・中学部教諭		36 名
児童・生徒		37 名
地元農家（畑の学校の先生）		1 名
田んぼ・畑の学校応援団		3 名

- 当日の活動場所見取り図


（活動場所の全容が分かる写真や図を貼付）



右から「大根」「人参」「白菜」

様式第 4 号

●事前準備

前日までの準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
<ul style="list-style-type: none"> ・収穫に必要な資材を購入した。 ・種まきから収穫まで水やりや草刈りを行った。 ・白菜は収穫しやすいように包丁で切れ込みを入れた。 	—
当日の準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や収穫の注意点などの説明を行った。 ・汚れてもよい服装に着替えた。 ・収穫したものを入れるカゴを準備した。 	

●準備物一覧

準備物	参考画像
<ul style="list-style-type: none"> ・学校 のぼり、かご、軍手 ・児童生徒 運動着、長靴 ・事務所 カメラ、のぼり 	—

●当日の活動内容

時間	活動内容・作業 や指導のコツ等	参考画像
10:40	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめのあいさつ ・職員紹介 ・活動内容、収穫の仕方の説明 ・全体写真撮影 	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>☆はじめのあいさつ 収穫に向けてやる気がみなぎっているようです！</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>☆収穫の仕方 畑の先生（普及所職員）より収穫の注意点の説明！</p> </div> </div>
10:50	<ul style="list-style-type: none"> ・畑へ移動 	 <p>学校から畑へ向かいます！</p>
10:55	<ul style="list-style-type: none"> ・大根→白菜→人参の順番で収穫 	 <p>大根は大きく育てて収穫するのも大変です！</p>

		 <p>白菜も大きく育って びっくりです！</p> <p>人参はちょっと小さく て残念です！でも、美味 しそうです！</p>  <p>こんなにたくさん収穫できました！</p> <p>11:15 ・ 記念撮影</p>  <p>11:25 ・ 運搬 ・ 水洗い</p>  <p>たくさん収穫して 重いけど、頑張っ て運びました！</p>
--	--	---

	終了	<p>収穫した野菜を洗い、泥を落としました。水が冷たいです！</p> 
--	----	---

●活動の成果・効果

活動の成果	大根 1 畝 (L=12m)、白菜 1 畝 (L=12m)、人参 1 畝 (L=12m) を収穫し、水洗いして泥を落とした。
児童生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・白菜、大根を収穫して楽しかった。 ・白菜、大きかった。重かった。 ・人参、小さかった。オレンジ色。 ・大根は大きく、人参は小さかった。 ・泥だらけで収穫をがんばりました。 ・土を掘って大根の葉っぱをもって力いっぱい引っ張りました。 ・大きな大根で驚きました。 ・テレビ局の人にインタビューされてうれしかったです。
支援学校の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーや家庭で見るだけの野菜を、実際に土に触れながら収穫したことは、とても良い体験になった。 ・児童たちは、自分で蒔いた種が生長し実になることを実感することができた。 ・児童たちは、収穫した野菜を手に取り、「大きい」「重い」「小さい」「オレンジ色」と言葉となって出ていた。心が動いていたことに感動した。 ・収穫の仕方を学び、学習になった。 ・収穫の仕方をお互いに見合うことで、関心が高まり、より意欲的に活動に参加することができた。 ・大根が大きく育ち、収穫の実感をより得ることができた。
地元農家の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・作物が大きく育ったのは、子どもたちの取り組みの成果だと思う。 ・子どもたちのために畑の耕しや肥料の散布などのお手伝いを今後も行っていきたい。